



永平寺町

第41号

平成28年1月22日発行

議会だより

町民の団体

永平寺神楽 永楽会
(※ 最終ページに紹介記事)



地方創生戦略～議会の目から～
事務事業評価 意見書を提出
そこが聞きたい! (議員17人が一般質問)

あつたあつた
おはよう
みんなのあつた

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会 検索

新年度予算に反映を!

事務事業評価意見書を提出

議会では平成26年度及び27年度上半期における実績（事務事業341件の中から22件を選択）を、数値的、執行状況、成果について26年度決算認定と合わせて審査し、28年度予算に反映させるための事務事業評価を行いました。

評価方法は妥当性、効率性、有効性の項目及び総合評価をA～Dの4段階で評価し、次年度の方向性を事業規標、予算の面で意見するものです。行政から提出された「事務事業評価シート」を各議員審査し議会評価シートを作成。それらを取りまとめ「議会評価意見書」として提出、3月定例会に「予算反映等改善書」を求めるものです。



主な評価意見（4-5ページに関連記事）

◆コミュニティバス運行委託料

実情に合った運行内容を常に見直しを行う。周辺地域で暮らしていける最後の交通手段であり保証が必要。

◆自主防火関係等補償金

防災リーダーの育成強化と同組織の充実強化を図る個別受信機の補助制度の検討を図る。

◆ふるさと創造（旧織物会館）プロジェクト

この施設が地区の歴史・文化・伝統などを発信し、情報交換、人事交流の施設として誘客と交流の場を図る。

◆放課後児童クラブ運営事務

子育ての町、若者定住支援として必要、また指導員の処遇改善の対応も。交通量、小学校からの距離も考慮した施設の検討。

◆道の駅整備工事

地元商店と共存して活性化するよう、また利用状況を検討し施設の改善も必要。

◆公民館主事賃金

先進地視察研修を行い地域密着型の公民館活動を目指すこと。



永平寺町議会議長

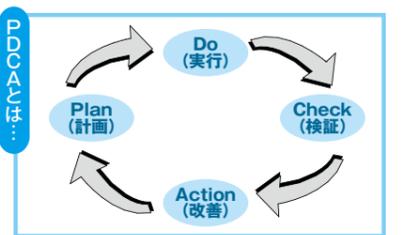
川崎直文

新年あけましておめでとうございませう。皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。日頃より議会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。今年の干支は「丙申」（ひのえさる）です。「形が明らかになってくる」「実が固まってくる」年です。町では、3月に県内で15番目の道の駅「禪の里」がオープンします。多くの観光客が訪れ、地元の方々にも親しまれる拠点として、町の活性化につながります。同じ3月より永平寺支所に隣接の新消防庁舎での消防本部の運用が開始されます。消防救急無線デジタル化と高機能消防指令センターが整備され、消防・救急体制の強化が図られます。永平寺町は2月13日に合併10周年を迎えます。次の10年を見据え、あるべき町の実現に向けて実践の節目の年です。昨年10月末に策定した「永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各施策にスピード感を持って積極的に推進する年です。議会においても「行動（考え動く）する議会」のもと、政策立案により注力し、地方創生を推し進めます。議員一人ひとりが、強い意欲・こだわり、継続の意志をしっかりと持ち、取り組んでまいります。どうか本年も、町議会に対し、昨年にも増して温かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして、本年が素晴らしい実り多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

まち・ひと・しごと創生 総合戦略

議会も監視 チェックで行動します!

このまま手をこまねいていると将来的に人口は16,000人に減少する見込みです。人口19,000人程度を維持し、子どもや孫たちが安心して暮らせる永平寺町が存続できるように、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の今後計画されている事業をしっかりと見極め、PDCAサイクルによる総合戦略や施策の評価検証を行います。基本目標は達成年度を設定して目標が完達できるよう検証します。町民の皆様の負担が少しでも軽減できるよう努めていきます。



目的

国の動きを踏まえ、人口減少の歯止めと少子高齢化に伴う社会構造の変化に向き合い、「住みたくなるまち」の実現を目指す。

全体方針

「出会いよし、子育てよし、働いてよし、住んでよし」平成52年まで、永平寺町の人口19,000人程度を確保

基本目標Ⅰ

永平寺町の地域特性を生かした、結婚・出産・子育ての希望をかなえる
合計特殊出生率 現行1.4を平成52年1.8に

基本目標Ⅱ

永平寺町の地域資源を活かした安定雇用を創出する
平成31年までに累積130人の従業者増加

基本目標Ⅲ

永平寺町への新しい人の流れをつくる
子育て世代（25歳から39歳まで）の転入転出を均衡させる

基本目標Ⅳ

永平寺町らしさを活かして、時代にあった「誰もが住みやすい」まちをつくる
限界集落「0」の維持

check!

基本目標Ⅰ

1. 若者の出会い創出の架け橋になるには
2. 出産しやすい環境の整備とは
3. 笑顔いっぱい子ども達になるような子育て支援になっているか

check!

基本目標Ⅱ

1. 企業誘致と雇用拡大の進捗状況を把握し、適切に対応する
2. 大学や民間、行政の連携状況を把握し、起業の状況を注視する

check!

基本目標Ⅲ

1. 町外出身の大学生が、卒業後も住み続ける条件を探り対応する
2. 積極的に大学生と交流の場をもつ

check!

基本目標Ⅳ

1. 都会の高齢者の移住受け入れで、健康保険料・介護保険料等で町民の負担が増加にならないよう検証する
2. 生活に必要な日常サービスや公共サービスが低下しないよう監視する



平成27年 第4回臨時会報告

平成27年第4回永平寺町議会臨時会は、11月16日（月）に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第4回臨時会議案		議案第48号 平成26年度上水道事業会計の決算認定	認定 総務委員会 付託
承認第10号 平成27年度一般会計補正予算の専決 処分の承認	承認	議案第56号 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
承認第11号 損害賠償の額を定めることの専決処分の承認	承認	議案第47号 平成26年度一般会計及び特別会計の決算認定	
議案第47号 平成26年度一般会計及び特別会計の決算認定	認定	議案第3号 議会評価意見書の提出	可決

予算決算常任委員会審査報告

平成26年度決算歳出(一般会計90億円、特別会計48億円、上水道6.5億円)

意見を付して認定する

議案47号「平成26年度一般会計及び特別会計」議案48号「平成26年度上水道事業会計」は去る8月31日の9月定例会議に上提された付託議案である。9月24日から11月16日まで9回の委員会を開催し慎重な審査を行った。認定に当たり16項目の意見として平成28年度当初予算に反映するよう求め議案47号は賛成多数、議案48号は賛成全員で認定した。意見は次の通り。

- ①「ミニユニティバス事業は住民の理解を」この事業は交通弱者の住民にとって移動手段として重要な役割を果たしている。今後も町民の要望やニーズに応えらるよう、朝夕は通学の足として、日中は高齢者の足としての役割を果たせるように、また内容については決定前の計画段階で住民の理解を得るような手段を講じること。
- ②「入札執行の改正で品質の確保を」入札執行に当り、「公共工事の品質確保の促進に関する法律改正」により歩切りを廃止した予定価格制度を実施しているが、品質の確保についてはどう担保しているのか議会に示すこと。
- ③「自主防災組織の育成と充実を」自主防災組織は災害時における地域にとつて自助・共助の対応が欠かせないものである。今後のリーダーの育成・充実や地域防災力の向上と自主防災連絡協議会との連携強化に向けた対応と施策を期限を決めて明示すること。
- ④「この国TV事業運営の今後の方針は」この国TV事業は住民にとってTV視聴のみならず、高度情報化社会における情報取得手段、通信サービスの地域間格差の解消、地域活性化や発展に寄与している。近年では防災警報伝達手段をも担う目的で整備を行っている。このことから、構成自治体の運営費負担も大きくなっている。設備の更新時期に当り、運営の方針を福井市と協議し、期限を決めて早急に示すこと。
- ⑤「公共施設再編は住民とのコンセンサスを」合併後10年を経過し、財政状況の現状と地域住民サービスや地域振興としての施設は重要性を増す中、公共施設再編は避けられない課題である。上志比支所の再編については住民とのコンセンサスを図るべく行政として早急にスケジュールを示すこと。
- ⑥「新消防庁舎を含む施設の利用を」消防庁舎、永平寺支所、開発センターの施設は、各々の役割と施設利用の重複もあり管理が複雑化している。宿日直の廃止により、消防職員の仕事の発生も発生して来る。災害発生時の対応（役割分担）が不明確であり、対応改善の検討と今後の利用についての検証も随時行うこと。

【行政回答】 朝晩はスクールのバスを使っているように、日中は高齢者の足として利用できるように考えており、地域公共交通会議にはかり平成28年3月から新ルート・ダイヤでの運行を開始する予定。

【行政回答】 「公共工事の品質確保に関する法律改正」に伴う歩切りの廃止を実施することにより、品質確保は高まる方向となる。従来から工事材料検査により指定規格品の使用について点検体制も整備している。大規模工事や特殊性の高い工事については、建設技術公社への監理業務委託を含め中間検査及び完成検査への立会を実施している。また、通常の工事等については、監督職員としての知識向上とスキルアップを図るため、積極的に土木技術基礎研修に参加している。

【行政回答】 役場と振興会との連携をより強化している。御陵地区へのスーパー出店計画については、まちづくりの視点から行政としての見解を示すこと。

【行政回答】 法律に基づいた対応であり、永平寺町都市計画マスタープランに基づいた計画である。

【行政回答】 永平寺ポイントカード制度に対しては、助成金使用明細を示し、今後の評価を定期的に行うこと。

現在進行中

【行政回答】 吉野塚交差点より西側の改良については荒川改修工事に併せて、重立地区の狹隘道路解消に向け、5カ年計画で事業を進めている。町内の未改良区間については、地元の意向を踏まえながら改良計画を県へ要望する。

【行政回答】 朝晩はスクールのバスを使っているように、日中は高齢者の足として利用できるように考えており、地域公共交通会議にはかり平成28年3月から新ルート・ダイヤでの運行を開始する予定。

【行政回答】 「公共工事の品質確保に関する法律改正」に伴う歩切りの廃止を実施することにより、品質確保は高まる方向となる。従来から工事材料検査により指定規格品の使用について点検体制も整備している。大規模工事や特殊性の高い工事については、建設技術公社への監理業務委託を含め中間検査及び完成検査への立会を実施している。また、通常の工事等については、監督職員としての知識向上とスキルアップを図るため、積極的に土木技術基礎研修に参加している。

【行政回答】 サービスの低下を招かないように、また利便性がより高くなる方法を検討し、町議会に示す。町議会との協議後、また、支所業務や支所整備計画等については、今後住民への説明等を行なう予定。

【行政回答】 消防庁舎の建設と永平寺支所・

- ⑦「介護高齢者福祉の具体策を」今後の高齢化社会到来と制度変更による在宅福祉（介護高齢者）の重要性は緊急の課題である。地域包括ケアシステムの構築に向け同支援センターの専門性が必要となってきた。行政としてのイニシアチブを取り専門性と体制強化を図るため、具体的施策を早急に示すこと。
- ⑧「子育て支援の充実を」子育て支援の充実を掲げる町として、子供を預ける幼児園の体制充実が必要不可欠である。今後も正職員と嘱託職員の構成比の割合改善を目指すこと。
- ⑨「行政回答」嘱託職員の今後勤務時間を8時間となるように、また、魅力ある条件となるよう、賃金等の職場環境の改善を来年度に向け検討している。
- ⑩「公共施設天井の安全を」設計年度による耐震診断の必要性の有無はあるが、サ

- ⑪「公民館活動の明確な方針を」公民館活動と地区振興協議会との関係と連携推進は、まちづくりの柱として必要不可欠である。方向性と施策を具体的にかつスケジュール性を持って明確に示すこと。
- ⑫「スーパー出店計画の見解は」御陵地区へのスーパー出店計画については、まちづくりの視点から行政としての見解を示すこと。
- ⑬「ポイントカード制度の評価は」永平寺ポイントカード制度に対しては、助成金使用明細を示し、今後の評価を定期的に行うこと。
- ⑭「県道の改良方針は」県道 京善一原目線については永平寺町区間の改良方針と計画を策定し、県に要望していくこと。
- ⑮「市内配管の安全は」上水道設備の市内配管（古い時期に施工した個人宅）に使用した鉛管については住民の健康を考慮し、町としての指導方針を決め対応策を検討すること。

- ⑥「新消防庁舎を含む施設の利用を」消防庁舎、永平寺支所、開発センターの施設は、各々の役割と施設利用の重複もあり管理が複雑化している。宿日直の廃止により、消防職員の仕事の発生も発生して来る。災害発生時の対応（役割分担）が不明確であり、対応改善の検討と今後の利用についての検証も随時行うこと。
- ⑦「介護高齢者福祉の具体策を」今後の高齢化社会到来と制度変更による在宅福祉（介護高齢者）の重要性は緊急の課題である。地域包括ケアシステムの構築に向け同支援センターの専門性が必要となってきた。行政としてのイニシアチブを取り専門性と体制強化を図るため、具体的施策を早急に示すこと。
- ⑧「子育て支援の充実を」子育て支援の充実を掲げる町として、子供を預ける幼児園の体制充実が必要不可欠である。今後も正職員と嘱託職員の構成比の割合改善を目指すこと。
- ⑨「行政回答」嘱託職員の今後勤務時間を8時間となるように、また、魅力ある条件となるよう、賃金等の職場環境の改善を来年度に向け検討している。
- ⑩「公共施設天井の安全を」設計年度による耐震診断の必要性の有無はあるが、サ

- ⑪「公民館活動の明確な方針を」公民館活動と地区振興協議会との関係と連携推進は、まちづくりの柱として必要不可欠である。方向性と施策を具体的にかつスケジュール性を持って明確に示すこと。
- ⑫「スーパー出店計画の見解は」御陵地区へのスーパー出店計画については、まちづくりの視点から行政としての見解を示すこと。
- ⑬「ポイントカード制度の評価は」永平寺ポイントカード制度に対しては、助成金使用明細を示し、今後の評価を定期的に行うこと。
- ⑭「県道の改良方針は」県道 京善一原目線については永平寺町区間の改良方針と計画を策定し、県に要望していくこと。
- ⑮「市内配管の安全は」上水道設備の市内配管（古い時期に施工した個人宅）に使用した鉛管については住民の健康を考慮し、町としての指導方針を決め対応策を検討すること。

平成27年 第5回定例会報告

平成27年第5回永平寺町議会定例会は、12月1日（火）～15日（火）まで15日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第5回定例会議案			
議案第56号 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	議案第62号 新町まちづくり計画(新町建設計画)の変更	可決
議案第57号 平成27年度一般会計補正予算	可決	議案第63号 新消防庁舎新築工事の工事請負変更契約の締結	可決
議案第58号 平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	議案第64号 新消防庁舎新築工事(電気設備工事)の工事請負変更契約の締結	可決
議案第59号 平成27年度下水道事業特別会計補正予算	可決	議案第65号 消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター総合整備工事の工事請負変更契約の締結	可決
議案第60号 平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	議案第66号 平成27年度一般会計補正予算	可決
議案第61号 平成27年度上水道事業会計補正予算	可決	発委第4号 食文化に関する条例の制定（9Pに関連記事）	可決

議案への賛否討論

予算決算常任委員会審査報告

委員長 上田 誠

一般会計12月補正予算

約 **1億円**

特別会計他

1億5700万円

観光誘客事業の推進予算

情報発信推進 ※1

1,000万円 (全額国費)

公衆無線LAN整備 ※2

530万円 (300万県費)

観光事業負担金 ※3

390万円 (全額国費)

- ※1 観光施設等の情報説明が日本語・英語・中国語で表示されるほか、えちぜん鉄道やコミュニティバスの時刻表等住民生活に必要な情報も発信するシステム。その他災害発生時には避難の情報についても発信する。
- ※2 永平寺門前地区に無線LANを整備を行い観光の利便性を向上させる。
- ※3 宗教文化街道への観光誘致として加賀市(石川県)あわら市、坂井市、勝山市、永平寺町の4市1町が広域で誘客活動を取り組む。

サンサンホールにバイオマスボイラーの設備導入

5,000万円 (全額国費)

(再生可能エネルギー：ホワイトペレット使用)

永平寺支所火災に鑑み意見を添付する

1. 永平寺支所のみならず類似の公共施設等については、防火・防犯の見地から再検討し、整備に関する方針、計画を早急に策定し実施すること。
2. 防火・防犯体制強化のため、管理者または管理チームを設け、随時各職場の点検を行い、再発防止のチェック体制整備に努めること。

主な質疑応答

問 地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)を活用しての情報発信推進事業、公衆無線LAN整備、観光事業負担金のねらいと有効性について。

答 町の観光情報・地域の情報・防犯情報をスマートフォンやタブレット端末を使い画像に文字・写真を表示するソフトの導入、および同情報を得るための無料公衆無線LANの整備であり、今後の観光誘客や町民の利便性を図るため。

問 バイオマスボイラー設備導入のねらい、導入に至った経過について、および燃料ペレットの地産地消(間伐材)はできないか。

答 先の東日本大震災における避難所施設での自然エネルギー対応や環境保全(再生可能エネルギー)の見方から避難施設でもあるサンサンホールに設置することにした。また、ホワイトペレット使用のため現在の町内供給対応はできないと聞いている。

問 永平寺支所の火災の原因が特定できない現状から今後の安全性のみならず、類似の公共施設の対応も必要でないか。

答 今回の補正予算は現状の復旧のための予算であり、防火防犯からの整備を検討し来年度の予算に反映していきたい。

問 公的機関の障がい者法定雇用率は昨年に続き本町は未達成機関となっている。障がい者福祉に冷淡な町と受け取られないよう早急な改善策をとるべき。

答 来年度には対応できるようにしている。

議案第47号 平成26年度 一般会計及び特別会計の決算認定

反対討論

金元 直栄

26年度決算を全面否定するつもりはないが、認められない理由の第一は、消防本庁舎の建て方。立地条件、支所の土地利用や、古い開発センター再利用等、10億円以上の金をかけながら使い勝手の悪い施設を作るなどあつてはならない。第二、専門職員の確保が、子育て、福祉、介護、都市計画等で求められているのに、進める方向性が見られない。第三、高齢者福祉を町としてどうしていくのか、体制強化が急務だ。第四は「道の駅」の計画とまちづくりには、住民の暮らしからの視点がない。以上の理由で反対とする。

賛成討論

伊藤 博夫

消防署庁舎の位置や現在のアナログ無線は電波法令の改正により、デジタル無線や指令センター等の期限(平成28年5月31日まで)が決められていたことから、全議員で「消防署統合推進特別委員会」を設置し行政に提案し決定したものである。また、専門職員の採用については町長が答弁したとおり、町内在住の専門に携わっている優秀な方々の協力を得たり、嘱託員としての採用も今後考えていきたいとのこと賛成する。

賛成討論

滝波登喜男

26年度決算については、委員会で十分審議した結果、15項目

発委第4号

食文化に関する条例の制定修正案

反対討論

長岡千恵子

食事の前に、家族に対し「いただきます」と言いなさいというしつけをしている。日常的に、大人も子どもも唱和してから食事を始めている。これらの事から「いただきます」の言葉は生活に根付いたものと考えられる。町民がこの条例に親近感を持ち、町民の間に浸透させるには、第8条の通称が必要と考え、修正案に反対する。

賛成討論

上田 誠

この条例の主旨に対して反対するものではないが、次の見解より賛成する。
①永平寺町の食文化に関する条例であり、乾杯条例でないこと
②商工会からの陳情も乾杯に特するものでないこと
③町民喚起の議会発議は全員納得が原則と考える
④当初は全員が賛成した後での案に乾杯が加えられた点により当初の通り8条を削除した条例に賛成する。

反対討論

江守 勲

この条例の第8条は、産業建設常任委員会へ再審議の付託を

■議案への賛否一覧 議席順に掲載 (○賛成 ×反対 一欠席 □退席) ※議長(川崎直文)は採決に加わりません

	上坂	滝波	長谷川	朝井	酒井	江守	小畑	上田	金元	樂間	齋藤	伊藤	奥野	中村	川治	長岡	多田
議案第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第4号	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等16件については全員賛成です。

議会提案により条例制定

永平寺町の食文化に関する条例

(目的)

第1条 この条例は、霊峰白山を源流とする九頭竜川の恵みによりもたらされた、質の高い米、小麦、野菜などの農産物や、それらを用いた特産品、地酒等の継承及び振興について、町民、事業者及び町の役割を定めることにより、永平寺町の食文化の持続的な発展に寄与することを目的とする。

(用語の意義)

第2条 この条例において「永平寺町の食文化」とは、農産物、水産物等の食材、地酒、菓子及び調味料で本町において生産、加工等をされた物並びにこれらを利用した郷土料理、精進料理等の料理をいう。

(町民の役割)

第3条 町民は、永平寺町の食文化について理解と関心を深めるとともに、その普及に配慮するものとする。

(事業者の役割)

第4条 永平寺町の食文化に関わる事業者（以下「関連事業者」という。）は、永平寺町の食文化に係る向上発展に主体的に取り組み、本町及び他の関連事業者と相互に協力するよう努めるものとする。

(町の役割)

第5条 町は、永平寺町の食文化の普及に係る事業、教育等その伝承及び振興に関し必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

(永平寺町の食文化の奨励)

第6条 町民、関連事業者及び町は、会食を伴う集会等における郷土の地酒等による乾杯その他の永平寺町の食の利用及び永平寺町の食文化の普及に配慮するものとする。

(情報発信)

第7条 関連事業者及び町は、永平寺町の食文化に関する情報の発信に努めるものとする。

(その他)

第8条 本条例の通称名を「いただきます カンパイ条例」とする。

附 則

この条例は、平成28年2月13日から施行する。



事業者と行政を交え、産業建設常任委員会

議案への賛否討論

食文化に関する条例の制定

発委第4号

し、委員会で慎重審議された。また議会全員協議会でも十分議論されたことを受け、私は委員会の意志を尊重するのが妥当と判断し、この修正案に反対する。

賛成討論

金元 直栄

本来、このような条例は全会一致が原則であり、その点で努力された議員には敬意を表したい。

全会一致とするには、後で加えた「通称」の8条件をなくすことで私も賛成できると言っているのに、その声は一切聞かないというのは異常で陳情の主旨にも反する。よって修正案に賛成する。

反対討論

金元 直栄

一つの間にか8条が加わり「いただきます」まで入ってきたが、なじまない人々もいる。さらに法律の条文に「慣習」を入れるのはふさわしくない。結果、強制にもつながることから、修正案を示し、原案には反対する。

賛成討論

川治 孝行

「いただきます」は学校教育の中でも食事への敬けんな気持ちを表す挨拶の言葉として食に対する感謝の気持ちを大切にしている。豊かで便利な飽食の現代において「食べ物を大切に思う心」を養い「豊かな食」を楽しむ意味でも「いただきます」の通称名は大人はもとより、子どもたちにとっても素晴らしい

意味合いを持っている。また「カンパイ」は、祝辞の言葉、勢いのある言葉として、物事を祝い、発展を願う言葉であり、活力ある町づくりに寄与するものである。

反対討論

滝波登喜男

この条例は、商工会からの町の食文化に関する条例制定の要望を受けてのもので、全会一致が基本であり、条例素案の段階から全員で協議していた。しかし、産業建設委員会の発案には、素案になかった「第8条通称名」が加わっていた。しかも加条した理由の説明もなく上程されたことはルール違反である。また、この通称名の「いただきます」は条文内容と一致せず「おもてなし」に変えるなどの提案をしたが、合意するに至らなかった。よって第8条を削除した修正案を提出する。

賛成討論

上坂 久則

通称名は、愛しく町民から親しまれるのが理にかなっている。

「いただきます カンパイ」は何らの問題なく削減や条例変更する正当な理由はない。この要因により賛成とする。

賛成討論

奥野 正司

本条例に対する修正動議に反対し原案に賛成する。

理由 原案通り第8条がある方が発信力、聞き手が受けるインパクトともにはるかに大きい。「いただきます カンパイ」という言葉が宗教用語として否定する修正動議には賛同できない。この町の商工観光農林業の活性化に寄与する条例として原案に賛成。

新町まちづくり計画の変更・新消防庁舎新築工事の請負変更成立

総務常任委員会 委員長 中村勘太郎

本委員会は12月11日（金）全委員出席のもと開催し、総務関係の今議会で付託された案件について慎重に審議した。

議案第62号 永平寺町新町まちづくり計画（新町建設計画）の変更
市町村建設計画に基づいて行う事業に対する、合併特例事業債の活用が、被災市町村以外でも活用できる期間が5年間延長できるところを踏まえ、本町においても、平成32年度まで活用することが有利と捉えこの建設計画を変更する内容であります。これを踏まえ、今後の主要施策の項目に、「観光まちなみ整備事業」「国民体育大会・障害スポーツ大会の開催」等の追加を行う。

議案第63号 永平寺町新消防庁舎新築工事の工事請負変更契約の締結
議案第64号 永平寺町新消防庁舎新築工事（電気設備工事）の工事請負変更契約の締結
議案第65号 消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター総合整備工事の工事請負変更契約の締結

この議案第63号・第64号の2議案は関連した変更工事であり、工期を平成28年1月29日までを、同年3月11日までとする工期変更で、その理由は、融雪工事・側溝改修工事・庁舎内部設備・自家発電設備の基礎工事の増工で増額総計3849万3360円及び、自家発電設備の発電容量を増量し、474万4440円の増額変更です。また、議案第65号は、庁舎建築工事の延期に伴い、デジタル無線・高機能消防指令台の整備及び、取り扱い研修期間が延期となり、平成28年2月29日を、同年3月14日に変更する。

《主な意見》 工事の進捗状況等遅れないのかとの意見がありました。この件については、建物新築工事自体の遅れはなく、現在約70%です。また、工期の延長については、当初になかった町道と国道との間の舗装および融雪工事等を実施するためです。

………採決の結果、委員会全員賛成により可決

地域密着型サービス施設の事業所決定

教育民生常任委員会 委員長 滝波登喜男

当委員会は、12月11日（金）委員出席のもと開催した。

I 地域密着型サービスの事業者選定の報告
町が募集した地域密着型サービスの事業者選定の経過及び結果の報告を受けた。
①小規模多機能型居宅介護サービス②認知症対応型共同生活介護サービス共に、介護タクシー・ケアふくい（株）が選定された。

II 子育て支援課の業務
子育て支援課の業務内容および職員の事務分掌、当面の職員体制、心のケア、労務管理などについて報告を受けた。

「永平寺町の食文化に関する条例」理解と関心を深め、その普及に

産業建設常任委員会 委員長 朝井征一郎

当委員会は、12月14日（月）全員出席のもと開催した。

発委第4号 永平寺町の食文化に関する条例（9ページに条例掲載）
この条例は、永平寺町の「食」を味わい、自然の恵みある「食」を家族や地域の絆を深め、郷土の地酒で乾杯し、地産地消の推進を行うことにより、永平寺町の食文化の普及促進を行う。関連産業の発展が図られ、町外の人達にも永平寺町の食文化に関する歴史を味わっていただきたいと思う。

本条例の通称名を「いただきますカンパイ条例」とする。いただきますは料理を作ってくれた方、野菜を作ってくれた方への感謝と、それぞれの食材への感謝の気持ちです。乾杯は、家庭内から宴席に至るまで、その指名者が音頭を取り、注いだ盃やコップを掲げ「乾杯」と唱和したのち口にする。（音頭を取る者の合図や雰囲気）………採決の結果、委員会全員賛成により可決

問&答 そこが聞きたい!

12月定例会
一般質問

17名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

問 公共施設の整備と見直しについて

答 再編計画に基づき進める



川治 孝行 議員

問 公共施設の見直しの基本方針と考え方は。
財政課長 公共施設再編計画に示した方向性に基づいて進めていく。
問 公共施設の見直しで施設の有り方（方針）を定めるために必要な項目の内容は。
財政課長 施設更新や管理形態の検討、統廃合や機能見直し等の検討を目的に行っている。

問 公共施設再編の目的と理由および効果は。
財政課長 施設の廃止または機能の集約を検討し、方向性を示した。また効果として老朽化が進んだ7施設を取り壊しとした。
問 取り壊し、新築とする、上志比支所や上志比分署は、地区住民の意見

を聞き、検討結果を住民に示して理解を得ているのか。

財政課長 関係機関と協議の結果、取り壊し、新築とした。今後は住民に方向性を示し、地区住民に理解を求めたい。

問 会計検査院の指摘について問う。

学校教育課長 火災報知器4校 煙感知器4校が指摘されたが修理済である。

問 ②小中学校で避難はしごの錆び付や屋内消防設備の劣化の検証結果は



旧上志比小学校

学校教育課長 避難はしごに問題はないが、救助袋の老朽化の指摘が2校あった。
また、屋内消火栓ホースの劣化が指摘されたが、新品と交換済である。
問 ③各学校の校舎の外壁、天井の劣化及び点検はどうなっているのか。

【その他の質問】
「永平寺町内の河川防災について」

問 こしの国CATVの在り方は

答 更新計画に合わせ福井市と検討



小畑 傳 議員

問 町民の方から、こしの国CATVの光ケーブルの感度が非常に悪く、ネットでの仕事にも支障があると聞いた。これは町民の負託に答えていない。

総合政策課長 7月からウインドウズ10の無償アップデートがネット帯域を圧迫していると推測している。今年度末の完成を目指し、通信系サーバー・スイッチ類機器更新工事を行っている。特

問 町民の方から、こしの国CATVの光ケーブルの感度が非常に悪く、ネットでの仕事にも支障があると聞いた。これは町民の負託に答えていない。

総合政策課長 機器の更新計画に合わせ①このまま継続する②指定管理者に移行する③事業を譲渡するなど、多方面から福井市と考えていきたい。

問 福井北ICとのアクセス道路整備を

答 県事業として知事に要望・要請

問 中部縦貫自動車道の福井北JCTと大野市が平成28年度中に結ばれ、今以上に交通量が増えることが予想される。福井北IC・松岡IC間の道が与える地域周辺の活性化は計り知れない。行政間競争の中、本町の持つ地理的優位性を発揮しなければならぬ。国体開催を控えて、福井北ICから北に市街地に向けた道路の整備が急がれる。

町長 用地買収等に多額の費用を要するが、県に強く要望している。1年でできる問題ではないので、今後も前向きに検討していきたい。



北インター 北方面

問 創生総合戦略で人口を維持するには

答 結婚・出産・子育ての希望を叶える



長岡千恵子 議員

問 計画されようとしていない子育て支援は、保護者を対象としたものである。子どもに視点を置いた支援ができないか。

副町長 子どもたちが笑顔いっぱいの子育て支援ということも来年度の支援のテーマとして考えている。

問 町民に人口が減少する危機感を周知し、その対策は。

総合政策課長 結婚・出産・子育ての希望を叶えていくことが人口維持につながる。人口減少や少子高齢化といった問題に対する町の政策を分かりやすい概要版を作成し、広報する。

問 出会い創出イベントも必要な事業であるが、いろいろなどところで、出会いが創出できる仕組みが必要では。

町長 昨年はこの出会い事業に、各団体の若い人たちで、実行委員会をつくり企画した。若い人たちが仲良くなつて、新しいつながりができた。私達がリーダーを張り巡らして、若い人の出会いの架け橋になることも大事。

問 保育士の正規職員の拡大を

答 嘱託保育士の待遇改善を検討

問 正規職員の保育士と嘱託職員・パートタイムの保育士の人数は。

副町長 正職の保育士は53名、嘱託保育士は8時間勤務の方が27名、7時間以下勤務の方が23名。産休・育

問 産・子育ての希望を叶えていくことが人口維持につながる。人口減少や少子高齢化といった問題に対する町の政策を分かりやすい概要版を作成し、広報する。

問 出会い創出イベントも必要な事業であるが、いろいろなどところで、出会いが創出できる仕組みが必要では。

町長 昨年はこの出会い事業に、各団体の若い人たちが、実行委員会をつくり企画した。若い人たちが仲良くなつて、新しいつながりができた。私達がリーダーを張り巡らして、若い人の出会いの架け橋になることも大事。



行事準備中の保育士

問 4月より障がい者差別解消法が施行されるが

答 ソフト面、ハード面に対応していきたい



酒井 要 議員

問 この法律は幅広く、身体障がい者、知的精神、高齢者、高齢者で手帳を持っていない人も対象にしています。一番心配していることは、町の窓口をどこにするかはっきりしてほしい。

福祉保健課長 障がい者差別解消法は来年4月から施行で、障害を理由に差別的取り扱いや権利侵害をしてはならない。また、社会的障壁を取り除くための合理的配慮・差別や権利侵害の防止と普及啓発といったものが定められている状況で、窓口は福祉保健課にする。

問 バリアフリー化についてソフト面とハード面があると思うが、オストメイトの障がい者の方から、周りの人の目がある。外出もできない人もいる。

町長 障がい者差別解消法が施行にあたり、ソフト面ハード面で段階を追って対応していきたいと思っておりますので、いろいろ指導願いたい。

福祉保健課長 車いすや盲導犬を禁止する制限を設けてはならない法律である。

問 永平寺町には盲導犬はいませんが今後、目の見えない方が盲導犬を利用する方がいるようになったら、お店やスーパーを活用できるような指導をするのか。

福祉保健課長 車いすや盲導犬を禁止する制限を設けてはならない法律である。

問 町民からバリアフリーのことだが永平寺には車いすで行けるのか質問を受けた。大変困った。今後は修行僧の修行する場だと答えた。

町長 町民からバリアフリーのことだが永平寺には車いすで行けるのか質問を受けた。大変困った。今後は修行僧の修行する場だと答えた。

問 町の観光行政の進め方は

答 観光物産協会と連携

問 旧織物会館を利用したふるさと創造プロジェクト事業は、本町の観光資源の情報発信基地作りとしているが、内容が総花的で絞れていないと思うが。

総合政策課長 禅と食と酒をメインテーマに、本町の自然・歴史・文化の魅力発信、町民の憩いの場、さらに観光情報の発信施設として整備する。2階は町内の各種団体・大学生も利用できるイベントスペースや会議室も用意している。

問 旧織物会館を利用したふるさと創造プロジェクト事業も大事ですが、町外・県外に出て本町に来て下さいとアピールしていく必要がある。

町長 幅広い観光事業に対応すべく、的・時期を絞り効率的にアピールしたい。機動的に動ける観光物産協会に事業をシフトして連携をしながら進めたい。

地域に誰でも気軽に参加できる「認知症カフェ」を

答 支援策を立てていく



朝井征一郎 議員

問 認知症や高齢者、介護する家族の集まる場所として認知症カフェはどうか。そこには仲間がいて、一人で悩まなくてもいい。飲み食いをしながら歌やゲーム、体操をして気分転換を図れると思うので、町として支援をしていく考えは。

福祉保健課長 厚生労働省が平成24年6月に認知症施策推進5ヶ年計画、いわゆるオレンジプラン計画を公表している。この中で、いわゆる認知症の人やその家族の方に対する支援として、認知症カフェを推進している。認知症カフェは本人のみならず、家族、また地域の住民の方や専門職といった方が参加できて集う場としての役割を果たしており、福井市においても、6ヶ所実施している状況。町としても、認知症対策の中で認知症カフェは、来年度以降に支援策を立てていく。

池替えを簡単にしない人が多いのでは。10年前、設置義務時に早く設置さ

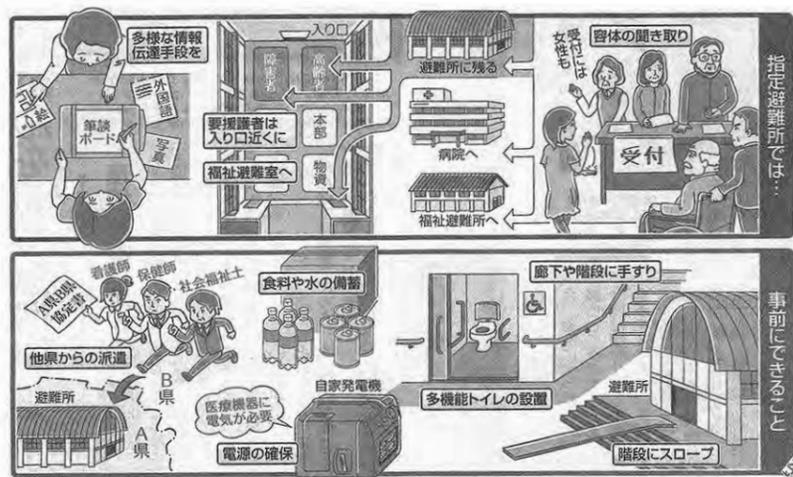


住宅用火災警報器とリチウム電池

れた様に、今回も家庭訪問が良いのでは。広報誌やケーブルテレビ及びフェイスブック等では人は動かないのでは。

消防長 ①については、平成26年中に福井県下に13件、本町では平成20年、25年に1件ずつ警報器鳴動にて事なきを得た。お聞きする。

実例がある。②について、管内6千軒程住宅があり、消防職員40名弱では難しい面がある。広報誌は今後も年一、二回各戸配布する。問い合わせに直接の希望があれば出向く。また、町内会等のご要望を十分お聞きする。



指定避難所の絵図

問 災害発生時の福祉避難所とは

答 緊急指定の避難場所へが前提

問 「福祉避難所」とは、高齢者や障がい者のうち、一般の指定避難所では生活に支障をきたす要援護者向けの避難所。医療支援や介助など特別な配慮がされ、手すりやスロープなどバリアフリーとなつていて施設や障がい者に配慮した多機能トイレの設置を。高齢者や障がい者などの「要援護者」の避難所での対応について考え、医療や介

護で特別な配慮が必要な人がいることを念頭にいた備えが必要だと思われるが。

総務課長 まず地区内で決められた一時避難所に避難して、その後、緊急指定の避難所、これは防災ブロックの8ブロックに分かれており、ここに集まり、そこから福祉避難所あるいは広域避難所に分かれていく。福祉避難所は、自主防災連絡協議会の8ブロックに1カ所ずつ配置しており、幼児園が指定されている。地域住民の福祉避難所や一時避難所、広域避難所の場所を、広報している。バリアフリーについては、なかなか課題が多く整備できるところは、やっていきたいと考えている。

問 永平寺南地区の道路除雪は

答 「中継基地」は、条件による



長谷川治人 議員

問 北陸地方の12月から3ヶ月の気象予報では暖冬で雪は少ない見通し。近年の温暖化で、雪は少ない傾向でも日によって降り方にはらつきがある。

東古市付近で積雪が少でも、ときに荒谷(山々荒谷線)や志比方面(大工村線)では除雪出動の苦情となる。朝の出動時に除雪を済ませるにはどう

建設課長 除雪の方法、出動基準・出動時間の確認を十分行い、またパトロールの強化と気象情報等を十分把握し地域の実情に沿った早目早目の対応する。

中継置場は、新規に格納庫の設置は用地、財政面で厳しい。当該地区に空き物件があつて、その提供があり中継基地が確保できれば検討する。

うしたら良いか。過去にも提案、早朝の積雪時に判断が難しい時期があるので除雪車の中継置き場を設置出来ないか。また、住民からは優しい除雪を願う声がある。

問 住宅用火災警報器の設置点検を

答 要望によりお宅まで伺って確認する

問 既に、全国各地で相次いで火事が起きる命を失う。「住宅防災の為に命を守る7つのポイント」住民には改めて認識を。さて、そのポイント一つの住宅用火災警報器(以下「警報器」という。)について、町内では平成17、18年頃に設置。電池の寿命が10年で各家庭では丁度電池切れでは：①警報器で火災未遂実例は？②警報器の電

問 防火査察の厳格は

答 人命確保が第一番 出入り多数の施設は、厳しく防火指導を実施



上坂 久則 議員

問 防火管理制度と消防長 消防法第4条に基づき、防火体制・火気使用設備・消防用設備等の維持管理については、通常査察、特別査察を実施している。

問 避難訓練の実施は。

消防長 初期消火、通報、避難誘導訓練等の指導を実施している。特に防火対象物の内、不特定多数が出入りする店舗災害要援護者がいる福祉施設や病院、幼稚園等には特に厳しい防火指導を行っている。

問 小・中学校の防災、避難訓練の実施要項作成や実施は、安心を感じる修繕すべき対処の現状は。



小型ポンプの操法指導

学校教育課長 軽微な既設の修繕は、各学校に修繕費を計上しておりその都度、学校長の裁量において対処している。

問 風水害や地震等の際、生活確保(授業料・生活費)のため、基金の設置を考慮すべきだが。

総務課長 対処すべき全体的な基金はある。実施要項を早急に作成し、対応する。

【その他の質問】
「地域包括支援センター活用による安心・安全な町の福祉政策」
「同一作業、同一賃金なぜ実施しない」
「次年度予算編成と地方創生事業実施について」



多田 憲治 議員

問 今、上志比支所取壊、急ぐ理由は

答 維持管理費が抑えられる

問 上志比支所は、一昨年約400万円をかけ障がい者トイレも含め立派にトイレが改修した矢先、取り壊し案が提示され驚いている。支所は42年しか経過してなく損傷も少なく、本所まで遠路のため、利用者も多く公民館活動も盛んで順調に育んでいる。国の地方創生の狙いである人口増対策も含め活動拠点として門扉を広げるのが国の施策。支所を耐震と内装工事をして1億2千万円。11月末に提示された公民館に上志比商工会館を巻き込み現在の場所に82坪の平屋支所を建設しても1



取り壊し計画の上志比支所

億6千万余り必要とする。今、上志比支所の取り壊しを急ぐ理由は、財政課長 維持管理経費が抑えられる点と、合併特例債活用の延長期間が平成32年度迄で、このような方向性をさせていだいた。
問 来年4月からは上志比消防分署がなくなり、より地域の防災強化を図るため上志比1・2分団の詰所計画もあるが、合同で現在の分署車庫を使えば経費の節減になるのでは。
財政課長 支所取り壊しにより、消防団車庫等の整備スペースが確保でき

問 ミラノ万博での禪の反響を町づくりはどう生かすのか

答 町民が禪のすばらしさを伝えていくことが大事



ミラノ万博 禅と食コーナー

問 今年5月から10月に開催されたイタリアでのミラノ万博で福井県の禅と食コーナーは大反響と聞き及んでいるが、外国人の注目に対し行政のなすべき役割インバウンド施策に何が足りないと思われるか。また、今予算で計上されている観光情報などをスマートフォン、タブレット映像制作で何

を映し何を訴えるのか。当面、3年後の国体開催、5年後の東京オリンピックを目前に今取り組むことは何をすべきと考えているのか。
町長 中国語また、英語講座とか、公民館活動と交えて広がり展開も考えていきたい。

【その他の質問】「地区間の連携と地区猟友会相互の共生で有害鳥獣駆除の効果極大を」観光誘客拡大戦略に於ける近隣観光地との連携強化と町民がまず地元歴史を知り郷土に誇りを持つ観光マップ再調製の重要性：御陵地区にも5〜9百年の歴史」



本阿弥光悦の書を所蔵する「円寿寺」

問 防災士の育成強化は

答 しっかりと対処していく



中村 勤太郎 議員

問 防災士の資格取得講習会は県内で何回開催されるのか。
総務課長 本年度は、嶺北で2回、嶺南で1回の計3回開催されている。
問 この講習会の案内をいつ頃から、どのように住民に周知したのか。
総務課長 まず、6月28日の自主防災組織リーダー研修会を皮切りに、8月の町広報誌、10月の総合防災訓練、消防団幹部会、各地区の防災訓練、

講習会参加時や来庁された自主防災組織リーダー方々へ周知した。
問 この講習会の受講料は一人当たりどの位の講習料が必要か。また、県及び町の助成はないのか。
総務課長 研修講座の受講料から認定登録料まで、一人約6万4千円の費用で、県主体の事業として一人当たり5万6千円の県補助、個人負担として約8千円。永平寺町から

の助成はないが、県の地域防災リーダー養成事業を活用したい。
問 この受講で、永平寺町全体で何名の受講希望があったのか。
総務課長 今回12月19・20日(土・日)の防災士の受講者は67名。
問 平成28年度は、自主防災組織連絡協議会の強化元年、当管内ですでに防災士として活躍されている方と、今回取得される新たな防災士の方々との、本町の防災・防犯コミュニティの形成に、積極的に参加し、お互い顔が見える関係、仕組みづくりの連携・強化をはかり、より実践的な訓練をすることが肝要と思う

町長 町は、災害はもとより平時においても、防災関係行政機関の皆様と共に協働して活躍・協力して頂けるよう体制づくりする。こうした行動により、一番大切なことは、自助・近所の共助。住民の皆様お一人一人が防災意識を持ち、より実践的な訓練をすることが、地域を守ることだと思



県立大学での講習会

問 ふるさと納税の現状と課題

答 前年比寄付額の4.8倍

問 若い新たな納税の現状と課題は。
総務課長 前年比件数で6.6倍、金額で4.8倍。町内の生産者・企業と連携し、ふるさと永平寺町を発信する返礼品拡充を図る。カード決済やポータルサイトとの連携も進める。
問 返礼品は町内宿泊券や町内行事の優先席等、物品に捉われず開発を。

問 企業版ふるさと納税の取扱は。
総務課長 企業寄付金は現状の損金化3割減税に加え、3割を法人住民税等から差引し減税幅を6割にして地域活性化に資するべく政府は来年度税制改革盛込を予定。内容を注視し取り組みに備える。現状は個人版の完成度を上げる。



奥野 正司 議員

寄付者投票型の使途設定を行ってはどうか。
総務課長 現在はまちづくり基金に積立て、中学校の各種活動に一部使用。来年度は寄付者が選ぶ使途も検討したい。

問 公民館を「核」として 実践活動支援を

答 核となる支援体制を組織する



上田 誠 議員

問 公民館を「核」としてその活動が住んでいる所(地区・地域)の生活基盤(産業、環境、インフラ、子育て、福祉、祭等)を主軸として単発ではなく全体的に一本化された流れになっていること。それをやれるような体制を支援する。今、町がやるべきことと思うが。

答 公民館主事を配置し、地域に入り、意見を聞いていく。来年度に

問 公民館を「核」としてその活動が住んでいる所(地区・地域)の生活基盤(産業、環境、インフラ、子育て、福祉、祭等)を主軸として単発ではなく全体的に一本化された流れになっていること。それをやれるような体制を支援する。今、町がやるべきことと思うが。

答 公民館主事を配置し、地域に入り、意見を聞いていく。来年度に

問 公民館を「核」としてその活動が住んでいる所(地区・地域)の生活基盤(産業、環境、インフラ、子育て、福祉、祭等)を主軸として単発ではなく全体的に一本化された流れになっていること。それをやれるような体制を支援する。今、町がやるべきことと思うが。



親子11からだ体操教室

問 地域再生計画とブランド化の状況は

答 1月に計画策定

問 今後、住民をどのように巻き込んでブランド化に取り組むのか。



ブランド化検討会

問 中国・寧波市との友好交流は

答 結び付きを図るのも良い方策

問 先月11月に、永平寺町日中友好協会が宮崎

答 先月11月に、永平寺町日中友好協会が宮崎



張家港市の授業風景



江守 勲 議員



樂間 薫 議員

問 中期財政計画で地方交付税の段階的削減(5.5億)・町税の減(1億)・地方債の増(25億)等から見ると厳しい状況が続く中、地方創生、公

答 中期財政計画で地方交付税の段階的削減(5.5億)・町税の減(1億)・地方債の増(25億)等から見ると厳しい状況が続く中、地方創生、公

問 中期財政計画で地方交付税の段階的削減(5.5億)・町税の減(1億)・地方債の増(25億)等から見ると厳しい状況が続く中、地方創生、公

問 歴史的・文化的資源の活用状況は

答 巡回展示で活用を模索

問 松岡古墳群の埋蔵品や郷土の歴史・文化を学ぶ機会や伝承していく考えはないのか。

答 松岡古墳群の埋蔵品や郷土の歴史・文化を学ぶ機会や伝承していく考えはないのか。

問 松岡古墳群の埋蔵品や郷土の歴史・文化を学ぶ機会や伝承していく考えはないのか。

答 松岡古墳群の埋蔵品や郷土の歴史・文化を学ぶ機会や伝承していく考えはないのか。

問 松岡古墳群の埋蔵品や郷土の歴史・文化を学ぶ機会や伝承していく考えはないのか。

問 人口増対策の方向性(施策)は

答 町民満足度の高い施策を生かす



金元 直栄 議員

問 究極の生き残り策だと国に脅され、合併へと突き進まされたが、合併の結果、地域経済は縮小している。

さらに国は、学校の統合を求め、TPPと農業関連法の改悪で若者が地域に住み続ける根拠すらなくそうとしている。

町は、子育て世代や町への移住者への施策は強調しているが、現住民や高齢者への施策は見られない。

町長 10年前の合併時には人口減にはあまり目を向けなかった。国は地方に活力を…と、今回の地方創生となっている。農業はしっかりと支援する。

総合政策課長 町民満足度の高い本町の子育て支援をさらに高め、大学の立地や交通の好条件を生かし、人口減を克服した。

問 本町には3つの都市計画区域があり、自分の町の方向性を決めるのに、福井市の了解が必要だといふのは異常だ。

町として機会があれば1つの都市計画とするには、専門的な担当者の配置と、継続的な取り組みが必要だ。何よりも町がその気に

答 企業の立地では、先ず町に相談等のルール作りが必要だ。

建設課長 専門知識を持った職員は必要だが、現在も基準に基づき、県の指導、助

言を受けながら行っている。町の都市計画マスタープランがまちづくりの方向性を示したものと考えている。

副町長 開発に当たっては、福井都市計画区域には人口フレームがあることから、市と町の人口フレームを県と共に合致させることが必要だ。

問 勇気と奮起、町長に、町政を問う

答 情熱を持って頑張っていく



齋藤 則男 議員

問 町長として就任2年、変わった、動いている、その姿が見えない。まだ就任して2年、これからが本番だとは思いますが、多くの町民は、若さがあつて行動する町長に期待をしている。

町長という職は責任もあるが、やりがいのある職だと思っ

ている。町益つまり町民のためになるもの、正しいことは可能な限りできる職である。もしその手順を少し間違えたなら、やり直しができるものだと思っ

これは若さという大きな武器があるから



町長とすまいるミーティング

町長 2年間経過したが、まず議員のときの思いと、そしてこの町政を預からせていただくという思いの中で、これから財政が厳しくなっ

てほしい。

その実現のために永平寺町民の町益のため頑張っ

かしてほしい。そして、思い起こし我々町民に聞

だ。

勇気と奮起、永平寺町をこのように動かすのだ、このように変えるんだ、若者が希望の持てる現実味のある気持ち、考えを議員時代での情熱を思い起こし我々町民に聞

問 寅さんロケ地の原風景を残しては

答 足跡を残すことは今後の課題



伊藤 博夫 議員

問 43年前の「渥美清と吉永小百合」が演じた「男はつらいよ」を東古市駅周辺や京善駅・荒谷国道364号線踏切線路上・門前等での撮影は、旧京福永平寺線であり、現在の「参道」の遊歩道とダブっており、観光物産協会が「寅さんサミット」へ積極的に参加することにより更なる観光客の誘客となるのでは。

京福永平寺線でのロケ風景の価値ある「原風景を後世に残す」ためにも何らか



寅さんのロケ風景 (旧東古市駅プラットフォーム)

答 幅広く周知したが実施までは

問 車に頼り過ぎない月間の周知と実施は

の証(木・石碑等)を残しておくべき。

商工観光課長 旧東古市駅舎には写真、パネル等が掲示されており、当時の撮影した原風景は残念ながらなくなりつつある現状で、復元することは難しいと思うが何らかの足跡を残すことは今後の検討課題とさせていただきます。

いく、そして将来につなげていかなければならない、先送りをしてはいけない、若いだけに先送りはなるべく避けたい、そういう思いと、もう一つは、今精力的に進めている事業とあわせて引き継いだ大きな継続事業、道の駅、織物会館、そして

国体は何としてでも成功させないといけない、そういう思いの中で今奮闘しているところである。今回のまち・ひと・しごと創生総合戦略についても情熱を持って産官学金労、そして報道の皆さん、そして町民の方、また議員も入って作成して

きた。

来年度の予算として5年後に向けて新たな地方創生のこれに向けての取り組みを行っていききたいと今考えている。

【その他の質問】

「想定外の災害が起きたら」

改善するために10月に推進月間をもうけるため福井県総合政策計画交通まちづくり課からのような通達があったのか。

総務課長 車に頼り過ぎない社会づくりの推進月間は、10月を中心にカー・セーブ運動等に関する広報活動を実施するよ

う、また推進月間中の広報掲載、放映などの広報活動への協力依頼文が届いている。

要望 その案内文の中のアクションプランの概要の中には、特に行政職員は通勤や公務で率先した公共交通利用の徹底、会議やイベントの時間、

場所の設定等をしたのか、議会も巻き込み「言って・聞かせて・やって」見せて頂きたい。

答 任意接種には、救済制度がない

これは機に町独自の接種補助を止めてしまつのは問題だ。二回目接種や、問の人へ支援すべきだ。

福祉保健課長 任意接種度だけとしている。

問 肺炎球菌ワクチン接種の後退は問題だ

答 任意接種には、救済制度がない

問 人の死亡原因の第三位に肺炎がある。国もこれを重視し、65才等の節目の年に一回限り接種に補助を決めた。しかし、

では、副作用への公的救済制度の適用がないこと。医師会の協力も必要とすることから、国の制度だけとしている。

問 町の都市計画の方向性を問う

Table with columns for dates and committee names, and rows for each council member (e.g., 川崎直文, 多田憲治, 長岡千恵子, etc.) showing attendance status (○, ×, △, -).

問 インバウンド観光促進のために

答 町民は宣伝大使



空き家

町長 協力隊には、都会感覚で観光物産を見てもらいたい。町民の皆様に、禅をはじめ地域のいい所をもっと知っていただき、誇りや郷土愛を醸成し、皆さんが宣伝大使になっていただくこと。そのための環境作りをしていきたい。



滝波登喜男 議員

問 5月に空き家対策特別措置法が施行され、特定空き家に認定した場合、所有者に除去改修の助言、指導、勧告、命令ができる。住民からの苦情に対し、所有者に何らかの手段を実施する責任が行政にあるのでは。総務課長 対応の準備が整った。行政の責任も及ぶと感じている。廃屋25軒の情報収集はほぼ終了。今後指導、助言をし、撤去するよう指導していく。

答 まちづくり会社を設立して

問 危険な空き家の対応を

町長 空き家を貸してというニーズが今後出てくると思う。『まちづくり会社』を設立し、空き家を利用し収益を得られる仕組みが可能か検討していきたい。

問 議会や監査委員の評価実施

町長 持続可能な行政運営のため事業の選択と集中が重要で、次期行政改革大綱でその点をしっかりと掲げていく。事業評価は、行政内部に加え議会や監査委員の指摘も踏まえ精査している。第三者の意見については、検討していく。

議員みずからゴシゴシ。恒例 年末大掃除



12月21日、日頃の感謝を込めて、議員みずから議場と会議室の机拭きやフロアの掃除機かけ、窓拭きをしました。永平寺町議会では、7年前からの恒例行事となっています。

《議会活動について》

問 議員報酬の総額から政務活動費を捻出すべきだ。【生活改善センター】

議会 青年世代の議員出馬を期待すると、一定の報酬は必要だ。

問 若い人が選挙に出易いように、議員定数は削減して報酬は上げてはどうか。民間では、各委員会の掛け持ちは当たり前だ。議会活動の実績も示すべき。【ざおう荘】

議会 チェック機能や、討論する為にも最低限度の議員数は必要だ。委員会は2つでも可。本会議（全議員）での対応も可。

問 定数削減の前に、議員としての活動や中身のことが大事ではないのか。町民が見ている。【農業構造改善センター】

議会 勉強しているが町民には伝わらない。一人年間90～130日以上活動しているので議会だよりを見てほしい。また、議員全員が一般質問をしている。

意見 政務活動費の支給は必要だと思う。定額ではなく活動しやすいようにすべきだ。【開発センター】



ざおう荘

※紙面の都合上、掲載できなかった

質疑内容・回答はホームページほか、役場本庁・永平寺支所・上志比支所で1月下旬よりご覧いただけます。ご了承ください。



永平寺町議会

検索

町民の声を議会へ

議会と語り合

ダイジェスト版 (※ 質疑内容抜粋)

平成27年10月28日29日30日 実施

町民からの質問・要望等への回答

町内12会場で開催し、3日間で延べ109の方が会場に足を運んでくださいました。

《地域防災力の向上を語ろう》

問 各地区において自主防災の目標をたてての訓練実行を。例えば、竜巻・台風洪水・地震などを想定しカリスマ的人材を育成し、深掘した対応策を。【ふるさと学習館】

議会 今年度より自主防災組織地区リーダーを委嘱しており、今後育成・充実強化に努める。

問 災害を想定した場合、地震または河川の洪水にしても、地区・地域で対応策が違う。地域に合った防災訓練を。【農家高齢者創作館】

議会 現在町内90集落で自主防災組織が設立されているが、活動については格差があると聞いている。今後の対応策についても行政と対応していく。

問 行政からの自主防災関係で区長と各地区の自主防災隊長への通知文が統一されていない。【農家高齢者創作館】

行政 自主防災関係の通知については、27年度に、各地区の自主防災組織リーダー（代表、会長又は、隊長）に委嘱した方だけに、通知

している。自主防災組織リーダーの中には、区長と兼務の方もいるため、指摘のようなことも起こり得るが、あくまで自主防災組織リーダーとしての通知と理解してほしい。今後とも、自主防災関係の通知については、自主防災組織リーダーのみへ配布する。

問 避難準備情報の時、上志比地区では数名が避難したが、単に避難しても食事や寝具はどうだったのか。情報を出すだけではどうか。また、防災無線は町内一本の放送になっているのか、別々にされているのか。【サンサンホール】

議会 私も避難したが、役場の職員がいて毛布とお茶を出してくれた。完備はされていたが、地域によっては差があるようだ。避難した人の確認などの筋書きはできているが、それが住民に周知されていない。この点と地域のどこに資機材庫があり備蓄されているのかも議会として言っていきたい。東古市では、その時、民生委員が一人暮らしの人を守り、8人を永平寺中に避難させた。そこに職員一人が付き添っていた。ただ避難が体育館というのはどうかと思った。だれが見てもわかるように表示も含め整備していくべきだ。別々になっている。支所別に放送ができるようになっている。

《その他》（総務常任委員会関係）

問 今、地方創生が叫ばれているが、企業誘致で町政が潤う施策は考えているのか。【農家高齢者創作館】

議会 地方創生プロジェクトチームで審議し、10月末には国に申請していく予定。

行政 永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、地域資源を活用した安定雇用の創出として、次の項目に取組むこととしている。

- 1) 大学付属病院や大学の専攻学部を活かした、医療、福祉、学術研究関連企業の進出に対する環境整備（助成制度等）をする。
- 2) 北陸自動車道と中部縦貫自動車道が連結したことで、福井北、永平寺参道、永平寺、上志比各ICを活かした企業の進出に対する環境整備（助成制度等）をする。

《その他》（産業建設常任委員会関係）

問 農業を守る施策について、国からの補助があると聞いているが、補助を受けながらハウスなどで何の野菜生産・出荷また、林野でも地域に合った果樹は何が適しているか誰に相談したら良いのか。【上志比支所】

議会 専門職は町の農林課にいないと思うが、町を通じ県に相談するよう報告する。

問 大本山永平寺の観光バスの乗り入れについて、制限はできないのか。客引きとか、呼び込みはやめさせることはできないものか。【農業構造改善センター】

議会 門前観光協会との調整が必要。議会でも意見は出している。



松岡農業構造改善センター

時	1月29日(金)	1月30日(土)	1月31日(日)	2月1日(月)	2月2日(火)	2月3日(水)	2月4日(木)	時
9	00 12月1日 開会	00 12月8日 一般質問② 上田誠議員 齋藤則男議員		00 12月7日 一般質問④ 多田憲治議員 奥野正司議員	00 12月10日 予算決算常任委員会②	00 12月7日 一般質問② 小畑博議員 長谷川治人議員	00 12月9日 一般質問 滝波登喜男議員	9
10	29 文字告知放送	56 文字告知放送		42 文字告知放送	57 文字告知放送	00 文字告知放送	10 文字告知放送	10
11	00 12月7日 一般質問① 川治孝行議員 長岡千恵子議員 酒井要議員	00 12月8日 一般質問③ 伊藤博夫議員 金元直栄議員		00 12月8日 一般質問① 中村勘太郎議員 江守勲議員 樂岡薫議員	00 12月15日 本会議	00 12月7日 一般質問③ 上坂久則議員 朝井征一郎議員	00 12月10日 予算決算常任委員会①	11
12	51 文字告知放送	28 文字告知放送		41 文字告知放送	52 文字告知放送	13 文字告知放送	03 文字告知放送	12
13	00 12月7日 一般質問② 小畑博議員 長谷川治人議員	00 12月9日 一般質問 滝波登喜男議員	00 12月1日 開会	00 12月8日 一般質問② 上田誠議員 齋藤則男議員		00 12月7日 一般質問④ 多田憲治議員 奥野正司議員	00 12月10日 予算決算常任委員会②	13
14	00 文字告知放送	10 文字告知放送	29 文字告知放送	56 文字告知放送		42 文字告知放送	57 文字告知放送	14
15	00 12月7日 一般質問③ 上坂久則議員 朝井征一郎議員	00 12月10日 予算決算常任委員会①	00 12月7日 一般質問① 川治孝行議員 長岡千恵子議員 酒井要議員	00 12月8日 一般質問③ 伊藤博夫議員 金元直栄議員		00 12月8日 一般質問① 中村勘太郎議員 江守勲議員 樂岡薫議員	00 12月15日 本会議	15
16	13 文字告知放送	03 文字告知放送	51 文字告知放送	28 文字告知放送		41 文字告知放送	52 文字告知放送	16
17	00 12月7日 一般質問④ 多田憲治議員 奥野正司議員	00 12月10日 予算決算常任委員会②	00 12月7日 一般質問② 小畑博議員 長谷川治人議員	00 12月9日 一般質問 滝波登喜男議員	00 12月1日 開会	00 12月8日 一般質問② 上田誠議員 齋藤則男議員		17
18	42 文字告知放送	57 文字告知放送	10 文字告知放送	29 文字告知放送		56 文字告知放送		18
19	00 12月8日 一般質問① 中村勘太郎議員 江守勲議員 樂岡薫議員	00 12月15日 本会議	00 12月7日 一般質問③ 上坂久則議員 朝井征一郎議員	00 12月10日 予算決算常任委員会①	00 12月7日 一般質問① 川治孝行議員 長岡千恵子議員 酒井要議員	00 12月8日 一般質問③ 伊藤博夫議員 金元直栄議員		19
20	41 文字告知放送	52 文字告知放送	13 文字告知放送	03 文字告知放送	51 文字告知放送	28 文字告知放送		20

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!

10/12 来てね！議会と語ろう会



10月28日~30日開催の議会と語ろう会のピラ配りを松岡地区敬老会の会場にて行いました。広報委員を中心にポスターも作成しました。

10/14 長崎県 長与町議会・播磨町議会 来町



長崎県長与町議会総務文教常任委員会の委員ら10名が「コミュニティバス」の視察のため来町。この日は兵庫県播磨町議会議会運営委員会の委員ら7名も「議会と語ろう会」「事務事業評価」の視察のため来町しました。

10/29 嶺北町村合同議員研修



福井県自治会館において市町議会議員合同研修が開催されました。慶應義塾大学法学部教授の片山善博氏の講演「立法機関としての地方議会」、読売新聞東京本社編集委員の青山彰久氏の講演「地方創生と地方議会の責任」があり、永平寺町議会議員も11名が参加しました。

11/2 小学生、初めての議場に興味津々



松岡小学校2年生12名が議場見学にやってきました。児童からの質問に川崎議長がやさしく笑顔で対応。「議長席に座ってみたい!」という子どもたちは、議長席に順番に座り、初めての議場を興味津々に体験していました。

11/6 永平寺町戦没者追悼式



永平寺町戦没者追悼式があり、議会を代表して川崎議長が追悼の辞を述べました。臨席した議員は霊前に花を供え、哀悼の誠を捧げました。

11/10 14 どんな味？ 学校給食



地域の大人たちに学校給食を体験してもらう給食サロンが開催され、議員5名も参加。「礼の心」が重んじられている上志比中学校では、いつものように「無言給食」が行われ、生徒たちと同様に大人たちも無言で食べ、地元産食材の給食をじっくりと味わいました。※14日：松岡中学校でも参加

11/20 嶺北町村合同議員研修



嶺北4町議長会の議員研修が南越前町で行われました。河野にある北前船の船主の右近家と中村家の見学のほか、今庄での今庄宿プロジェクト協議会の方から、今庄宿を保存する取り組みや南越前町の歴史と文化について研修させていただきました。

11/22 素晴らしいステージ & 作品展



上志比公民館講座発表会が開催され、議長と上志比地区の議員5名が出席。12団体の素晴らしい作品展や、11団体による活気あるステージを見せていただきました。

永平寺町合併10周年記念式典

日時 平成28年2月13日(土)

会場 上志比文化会館サンサンホール

アトラクションとして和太鼓奏者TAKUYAが凱旋公演

講演 春風亭小朝 師匠

傍聴にお越しく下さい

生中継 第1回 3月定例会 (予定)

2月23日(火) 10時~ [本会議]
2月29日(月) 3月1日(火) 2日(水) 10時~ [一般質問]
3月 3日(木) 4日(金) 7日(月) 9時~ [予算決算常任委員会]
3月10日(木) 10時~ [予備日] 11日(金) [本会議]

- 日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。
- 車椅子でお越しの方は、事務局までご連絡ください。(☎61-3950)

ご利用ください

エレベーター & スロープ

役場3階までのエレベーターと車いす利用されている方やお体の不自由な方のためのスロープがあります。

ぜひ傍聴にお越し下さい。



本議会以外にも
いろいろな活動があります!

永平寺の新春を祝う神楽舞



永平寺神楽「永楽会」

♪ピーヒャラ ♪テンテン ♪ピーのお囃子とともに舞うお神楽、お正月の風物詩とも言える風物が物珍しいものとなっています。

今回のがんばる団体は永平寺神楽「永楽会」です。復活当初からご尽力された岩本さん、岡本さんからお話を伺いました。

永平寺神楽は、今より100年程前に毎年お盆に伊勢から訪れる大神楽を門前の矢野茂由さんが見様見真似で覚え、当時の若者たちに教えたのが始まりとのこと。この神楽が盛んになったのは、当時の大本山永平寺64世森田悟由禅師が（明治30年～大正4年）が大変好んだようで、門前の若者も、喜んでいただけるならと娯楽のなかった頃なので毎晩稽古し、それが若者の交流の場となり、昭和初期には歌舞伎を公演するまでになったそうです。

秋祭りや正月には神社に奉納し、各集落の祭りや町内外のイベントに数多く出ていたそうです。しかし、昭和50年頃より青年も少な



くなり舞われなくなってしまったそうです。そこで、かつての神楽仲間を中心に復活呼びかけ、昭和60年に今の「永楽会」を結成し、旧永平寺町の伝承芸能に指定されています。

今も各集落の祭りや各種イベントにも出演しており、10年前の永平寺町合併記念式典にも出演しました。

『私たちはこの永平寺神楽を地域の伝承芸能として後世に継承していきたい』と語りました。

しかし、現在の課題は会員の高齢化が進んでいること。若い方の募集もしていますが、なかなか加入していただけないのが悩みだとか。神楽に興味のある方はぜひともこの「永楽会」へ連絡をお願いします。笑顔の中にも悩みと継承に並々ならぬ決意も見受けられました。

これからも頑張って活動されることを期待したいです。
(上田 記)



永平寺花祭り 四方の舞

編集者のびと

去る12月13日に永平寺町みんなの第九コンサートが県立大学交流センターで開催されました。

12月にもかわらず、天気に恵まれ、大勢の町内外の方が来場しました。

今回は3回目となり、合唱力の向上は目をみはるばかり。心が奮えました。ドイツ語の発音にも磨きがかかり、とても素晴らしいコンサートでした。

ケーブルテレビでも放映していたのでご覧になった方もおられると思います。

当日、ご来場できなかった方も、感動を共有していただきたいと思います。
(長岡 記)



- 議会 発行責任者 長 川 崎 直 文
- 江守 勲・上田 誠
金元 直栄・中村勘太郎
- 議会 委員会 長 岡 千恵子
副委員長 楽 間 薫
委員 長 岡 千恵子
- 議会 議会 長 岡 千恵子
副委員長 楽 間 薫
委員 長 岡 千恵子
- 議会 議会 長 岡 千恵子
副委員長 楽 間 薫
委員 長 岡 千恵子